



## 7・8月の園だより



学校法人志賀学園

松の実こども園

令和5年7月1日

トマトとバジルの苗の背が高くなり、収穫の日が待ち遠しい季節となりました。香りを楽しみながら、そのまま食べたり、簡単なピザなど作っていただきたいと思います。

今年も、年長さんが植えたお米の稲が青々と伸び、じゃがいもやさつまいもも順調に育っています。職員室前のメダカも日に日に大きくなり、登園してくると毎日子どもたちが眺めに来ます。夏は自然や生き物が生き生きと育つ時期です。自然の恵みに感謝しながら楽しみたいと思います。

さて先日、幼児教育コーディネーターの佐藤美枝先生を講師にお招きして、『自由な発想を引き出す子育てとは』と題して、志賀学園職員によります教育講演会が行われました。こども園でお預かりしている乳幼児期は、将来を決める、心の基地を作る大切な時期です。赤ちゃんでしたら、泣いたらオムツやミルクや抱っこなど、子どもの要求を無条件に満たしてあげること、自分は愛されている！これでいいんだ！と、人を信じる心、自分を信じること、自分のことが好きって思える、生きている基になる感情が育つそうです。オムツなど、いつまでも“漏れないから安心”ではなく、濡れていないかどうか手間暇かけて確認してあげることが親子の絆を深めます。子どもと一緒に挨拶をする、子どもと一緒に靴を揃える、子どもと一緒に片付けをする、子どもと一緒に考える。迷ったときは子どもに相談すると考える力がつきます。手をかけ、目をかけ、言葉をかけ、手塩にかけて育てる。乳幼児期の大人の関わり方で、人の話も素直に聞けるようになり、認められるので、生き易い大人になれるそうです。

保護者の皆様には、お子さんが豊かな人生を育むためにも、温かい言葉をたくさんかけ、肯定的な言葉をたくさんかけ、頑張っていることを誉めてあげてください。そうすると、自分は出来るんだ、やれば出来るんだと自信が持て、自分のことが好きになるので、幸せな人生を送れるということでした。長い人生の中の短い貴重なこの時期、悔いのないように、一生懸命、愛情いっぱい育てていきましょう。

さて、もうすぐ「七夕」です。七夕は天の川の橋を渡って織姫と彦星が一年に一度だけ会うことを許される日です。星座で言うと、織姫はこと座のベガサス、そして彦星はわし座のアルタイルです。この二つの星は旧暦の7月7日の天の川を挟んで最も光り輝いて見えることから、七夕の物語が生まれたと言われていています。七夕の夜、お子様と一緒に伝統の星を探してみるのも素敵ですね。